

健やかな体の育成

学校での体育・健康に関する学びの質を高め、市民ぐるみで「健やかな体」を育むことを目指して、**さっぽろっ子「健やかな体」の育成プラン**を推進します。

各学校における「健やかな体」育成プログラムの改訂・実施

各学校が、自校の子どもの状況を踏まえて「健やかな体」育成の課題を明確化し、体育・健康の両面のバランスのとれた指導の充実を図ります。

■体育に関する指導の充実

■体力・運動能力の向上

- ・体育・保健体育の授業の充実（（課題探究的な学習、感染予防に配慮した学習の推進、ICT（1人1台端末等）を活用した学習活動の充実））
- ・学校における運動機会の充実を図る環境整備の推進
- ・体力向上に係る調査研究に基づいた取組の推進（運動習慣の二極化傾向の改善、持久力・敏しょう性の向上への取組、なわ跳び運動の取組の充実・発展など）
- ・札幌らしいオリンピック・パラリンピック教育の推進（P15、16参照）



小学校のマット遊びで、動きを揃えて倒立する工夫を促す授業

■部活動の質的充実

- ・「札幌市立学校に係る部活動の方針」に基づき、休養日の設定や外部人材の活用を図るなど、持続可能な体制の整備
- ・課題探究的な学習の趣旨を踏まえた活動の改善

■健康に関する指導の充実

■基本的な生活習慣の確立

- ・健康的な運動・生活習慣づくりの推進（養護教諭、家庭・地域との連携強化）
- ・がん教育の推進（外部講師の活用促進）

■食育の推進

- ・健康的な望ましい食習慣の啓発（「食に関する指導の手引」の活用、栄養教諭・栄養士との連携強化）
- ・食と環境を結び付けた学習の充実（フードリサイクルによる学習の充実）

■性に関する指導の充実

- ・発達段階に応じた性に関する指導の充実
- ・「性に関する指導の手引」の活用
- ・「命を大切にす指導」と関連を図った指導の充実

心身ともに健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現へ

学校段階等間の接続及び発達の段階に応じて、目標や指導内容を明確にすることで、学びの

幼稚園段階

- 戸外で解放感を味わいながら思い切り活動したり、様々な活動に親しむ中で体を十分に動かしたりして遊ぶ機会を充実します。

「**幼児期運動指針**」（平成24年3月文部科学省通知）に基づく取組の推進

- 園生活を通して生活のリズムを整えるとともに、家庭と連携し、身の回りの清潔、衣服の着脱、食事、排泄等の基本的な生活習慣づくりに努めます。
- 先生や友達と和やかな雰囲気や食べたり、野菜などを育てたりする中で、様々な食べ物への興味・関心を広げ、進んで食べようとする気持ちを育てます。

小学校段階

- 体育科の授業を通して、体を動かす楽しさや喜びを味わうことができる基礎を培います。また、なわ跳びの取組や休み時間の遊びの充実を図るなど、学校全体で体力向上の取組を推進します。
- 体育科や道徳科、特別活動等の学習を通して、望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の保持増進や自他の生命を大切にする態度等を育みます。
- 給食の時間や教科・特別活動等の学習において食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けていくための基礎を培うことができるよう、食に関する指導の充実を図ります。